



山梨県 全国初 25 人学級編制導入（1 年生対象）

長崎知事 船津小学校視察



山梨県で今年度から始まった小学校1年生を対象とする25人学級編制。これは全国初の取り組みです。一人一人の児童に対して、きめ細かな指導をすることが目的です。富士河口湖町では、船津小学校と小立小学校が対象となりました。4月28日（水）には、長崎知事や山梨県教育委員会などが船

津小学校を視察しました。今年度の船津小学校の新1年生は、昨年度までの30人学級編制では3クラスとなるところでしたが、25人学級編制導入により1クラス22人から23人の4クラスとなりました。

これまで実施されてきた30人学級編制よりも児童一人一人へのきめ細かな指導の充実が可能となり、児童の学習習慣や生活規律の確立をはじめ、意欲の向上等、様々な面での効果が期待されています。

一方、この取り組みの導入により、クラス数が増えることで教室や教員の確保が難しくなっているという厳しい課題もあがってきています。



右から 渡辺喜久男町長
長崎幸太郎知事
立川 博 校長

話をしたり，体を動かしたり，それが大切な時間



町立教育センターの大きな事業の一つに教育相談があります。今年度も相談室を訪れる児童・生徒のために様々な活動を行っています。

悩み事を聞いたり、教科の学習や卓球・バドミントンなどの体を動かす活動を行ったりしています。交流活動として、来室している子どもたちが一緒に活動する場面を作っています。その一つに野菜作りがあります。先日、子どもたちと相談して、キュウリ、トマト、サツマイモ、メロン、カボチャ、ネギ、枝豆などの苗を植えました。小さな畑ですが、センターの職員と子どもたちが一緒になって土づくりも行いました。「畑作業が一番楽しかった。」という感想をもつ子もいて、様々なものやことと関わることの心地よさを感じているようでした。話をしたり，体を動かしたりする，それが子どもたちにとって大切な時間になっています。

また、来室している子どもたちの担任、養護教諭、管理職の先生方とも話をする機会を持ち、連携を密にしています。さらには、就学相談員、SSW（スクールソーシャルワーカー）、SC（スクールカウンセラー）、町の子育て支援課などとも連携をとっています。



今年度も関係機関と連携しながら充実した相談活動を行っていきます。